



高砂香料工業株式会社

証券コード：4914

2019年3月期 決算説明会

2019年5月23日

目次



- | | | |
|-------------|------------------------|--------------|
| I. | 2019年3月期 通期業績 | 笠松 弘典 |
| II. | 2020年3月期 通期業績予想 | 笠松 弘典 |
| III. | 中期経営計画の進捗について | 榊村 聡 |



I . 2019年3月期 通期業績

2019年3月期 通期業績

[単位：億円]

	2018/3 通期業績	2019/3 通期業績	前期比	為替影響除く 前期比
売上高	1416	1505	+6.3%	+6.5%
売上総利益 売上総利益率	448 31.7%	457 30.4%	+2.0% △1.3P	— —
販売管理費	385	399	+3.6%	—
営業利益 営業利益率	64 4.5%	58 3.9%	△8.2% △0.6P	△8.9% —
当期純利益	70	48	△31.8%	—

期中平均為替レート

USD :	112円	110円	△2円
EUR :	127円	130円	+3円

地域セグメント

[単位：億円]

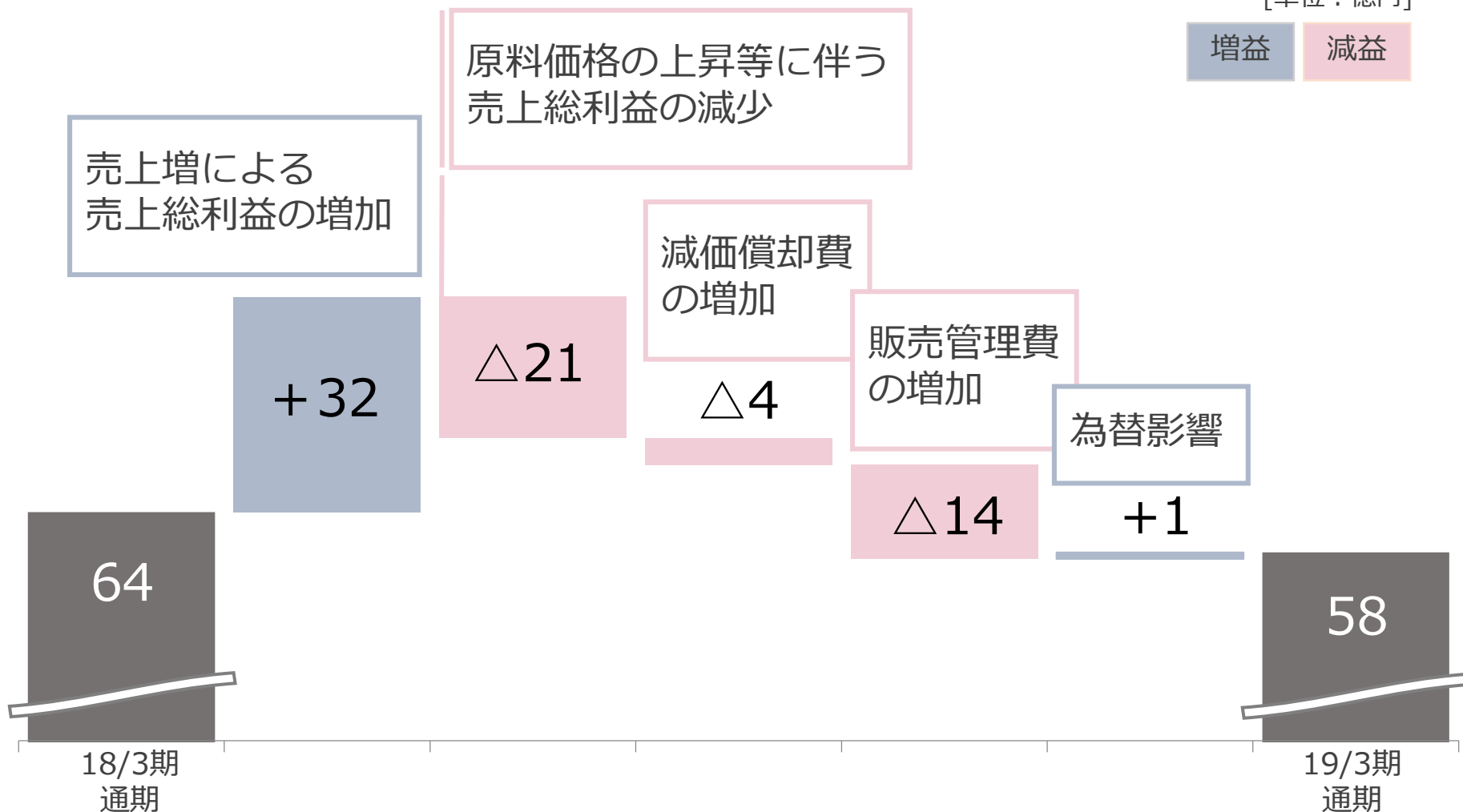
	売上高				営業利益			
	2018/3 通期業績	2019/3 通期業績	前期比	為替影響 除く 前期比	2018/3 通期業績	2019/3 通期業績	前期比	為替影響 除く 前期比
日本	653	677	+3.6%	-	26	25	△3.1%	-
米州	324	329	+1.7%	+4.1%	6	△1	-	-
欧州	221	255	+15.3%	+11.8%	12	17	+37.2%	+35.7%
アジア	218	245	+12.2%	+13.2%	18	14	△20.7%	△20.3%
調整			-	-	1	3	-	-
合計	1416	1505	+6.3%	+6.5%	64	58	△8.2%	△8.9%

営業利益の増減分析

[単位：億円]

増益

減益





Ⅱ. 2020年3月期 通期業績予想

為替の前提、感応度

■ 為替の前提

	2019/3 通期実績	2020/3 通期予想	前期比
U S D	110円	110円	0円
E U R	130円	125円	△5円

□ 為替感応度（1円円高/円安のケース）

□ 売上高に対する影響

- USD = 約4.1億円減収/増収
- EUR = 約2.5億円減収/増収

◆ 営業利益に対する影響

- USD = 約10百万円減益/増益
- EUR = 約10百万円減益/増益

2020年3月期 通期予想

[単位：億円]

	2019/3 通期業績	2020/3 通期予想	前期比
売上高	1505	1560	+3.6%
営業利益 営業利益率	58 3.9%	25 1.6%	△57.2% △2.3P
経常利益	68	26	△61.6%
当期純利益	48	30	△37.1%

期中平均為替レート

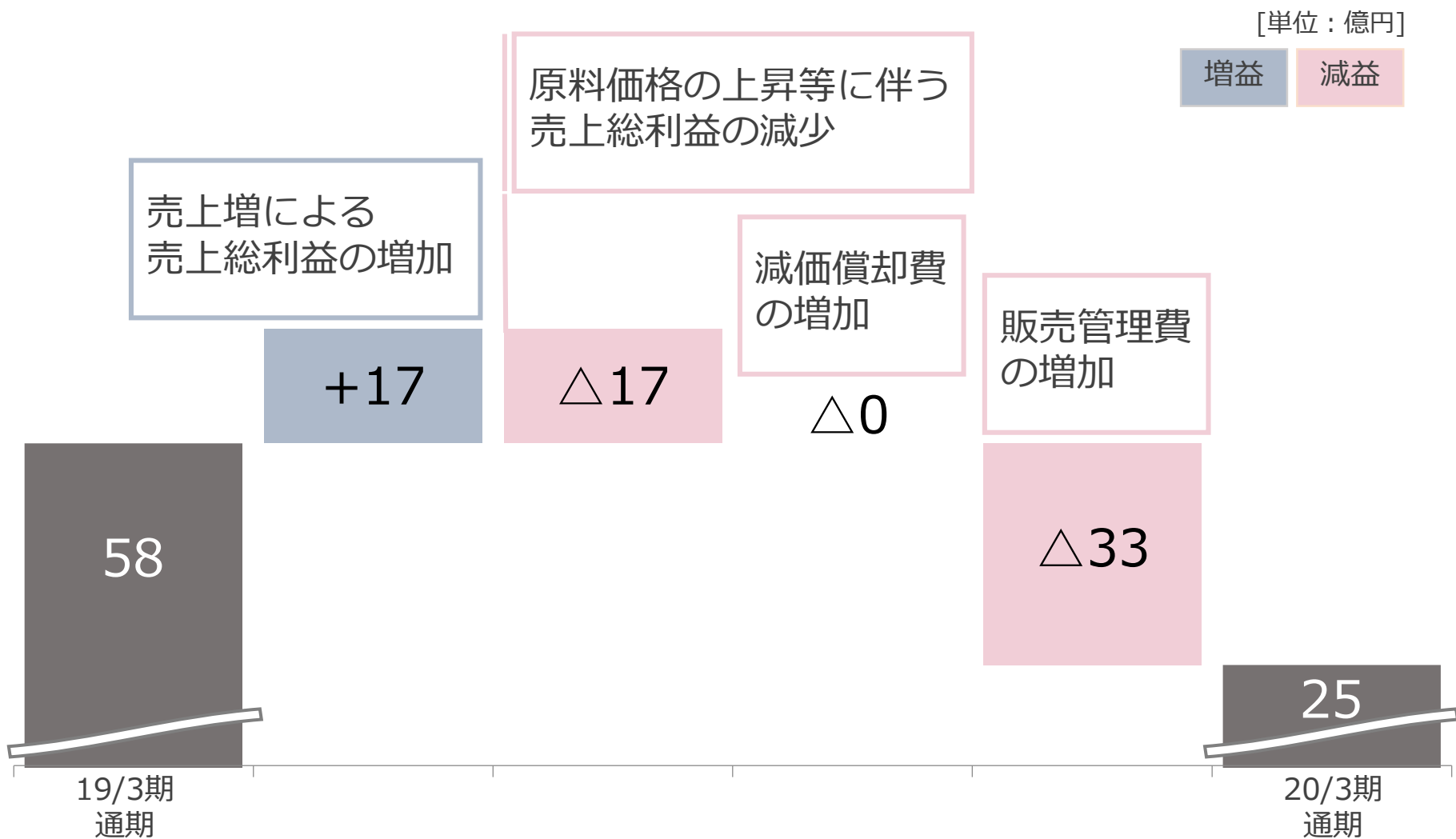
USD :	110円	110円	0円
EUR :	130円	125円	△5円

地域セグメント

[単位：億円]

	売上高				営業利益			
	2019/3 通期業績	2020/3 通期業績	前期比	為替影響 除く 前期比	2019/3 通期業績	2020/3 通期業績	前期比	為替影響 除く 前期比
日本	677	686	+1.4%	-	25	0	△98.9%	-
米州	329	332	+1.0%	+1.4%	△1	0	-	-
欧州	255	267	+5.0%	+10.2%	17	13	△23.0%	△19.7%
アジア	245	274	+12.1%	+13.4%	14	12	△14.0%	△13.7%
調整			-	-	3		-	-
合計	1505	1560	+3.6%	-	58	25	△57.2%	-

営業利益増減分析



設備投資・減価償却費・研究開発費

[単位：億円]

	2019/3 実績	2020/3 予想
設備投資	45	111
減価償却費	62	62
研究開発費	122	127
売上高研究開発費率	8.1%	8.1%

2020/3 主要投資案件

[日本]

- ・プロセス開発設備増強 9億円
(総額16億円 残額は、来年度支払予定)

[米州]

- ・米国子会社 製造設備拡充 16億円

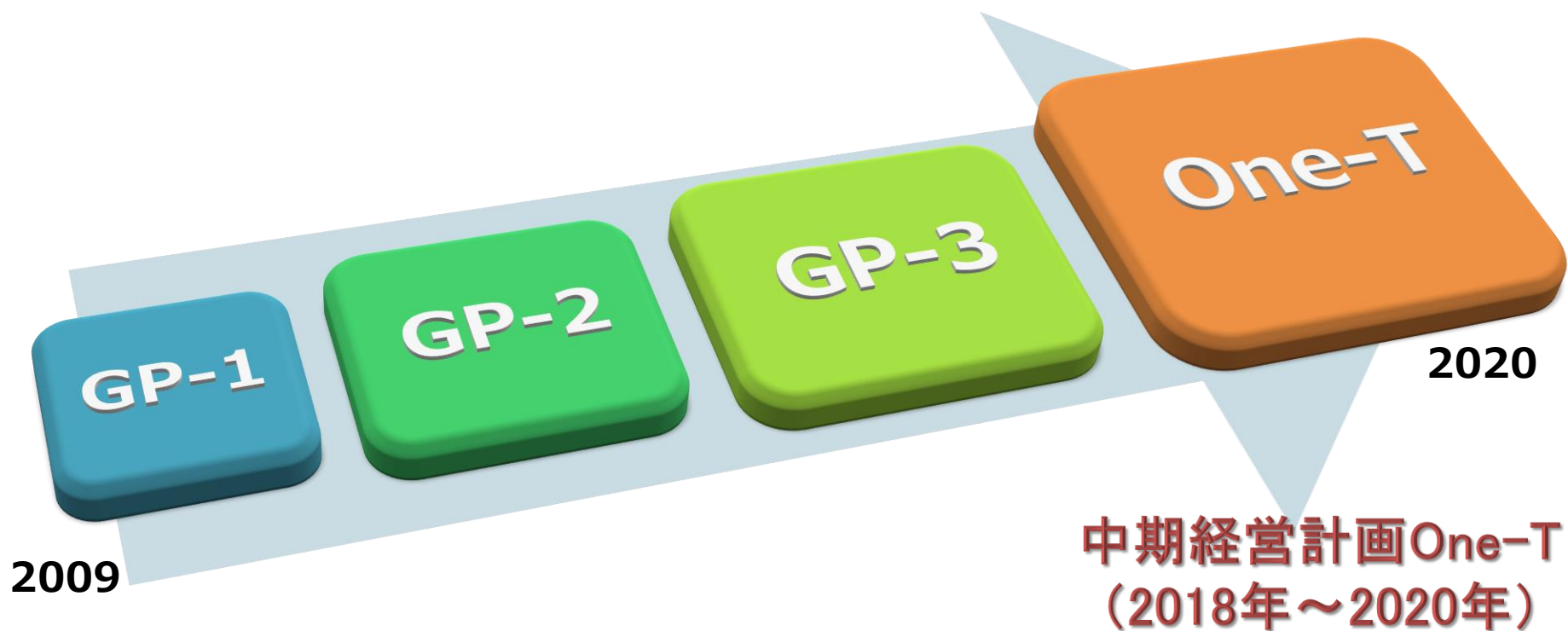
[アジア]

- ・インドネシア工場建設 16億円
(2019/3期に15億円支払済 総工費31億円)
- ・広州子会社 生産能力拡充 4億円
(総額11億円 残額は来年度以降支払予定)



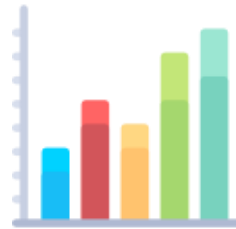
Ⅲ. 中期経営計画の進捗について

Takasago Global Plan



One-T 数值目標

売上高



1,700億円

営業利益率



5.2%



One-Tの取組み



- ● バニラ事業の拡大
- ● アフリカ 市場開拓
- ● ● CIT社買収 → 発酵技術、高付加価値製品の販売拡大
- ● 天然由来・再生可能原料でのアロマイングリディエント開発
- ● コモディティからスペシャリティへの移行
- ● 連続フロー技術 → LAH還元 → ポートフォリオ拡充
- ● ● インドネシア 新工場建設 → 稼働開始、アジアビジネス強化
- ● TaSuKI（原料調達プログラム）の推進

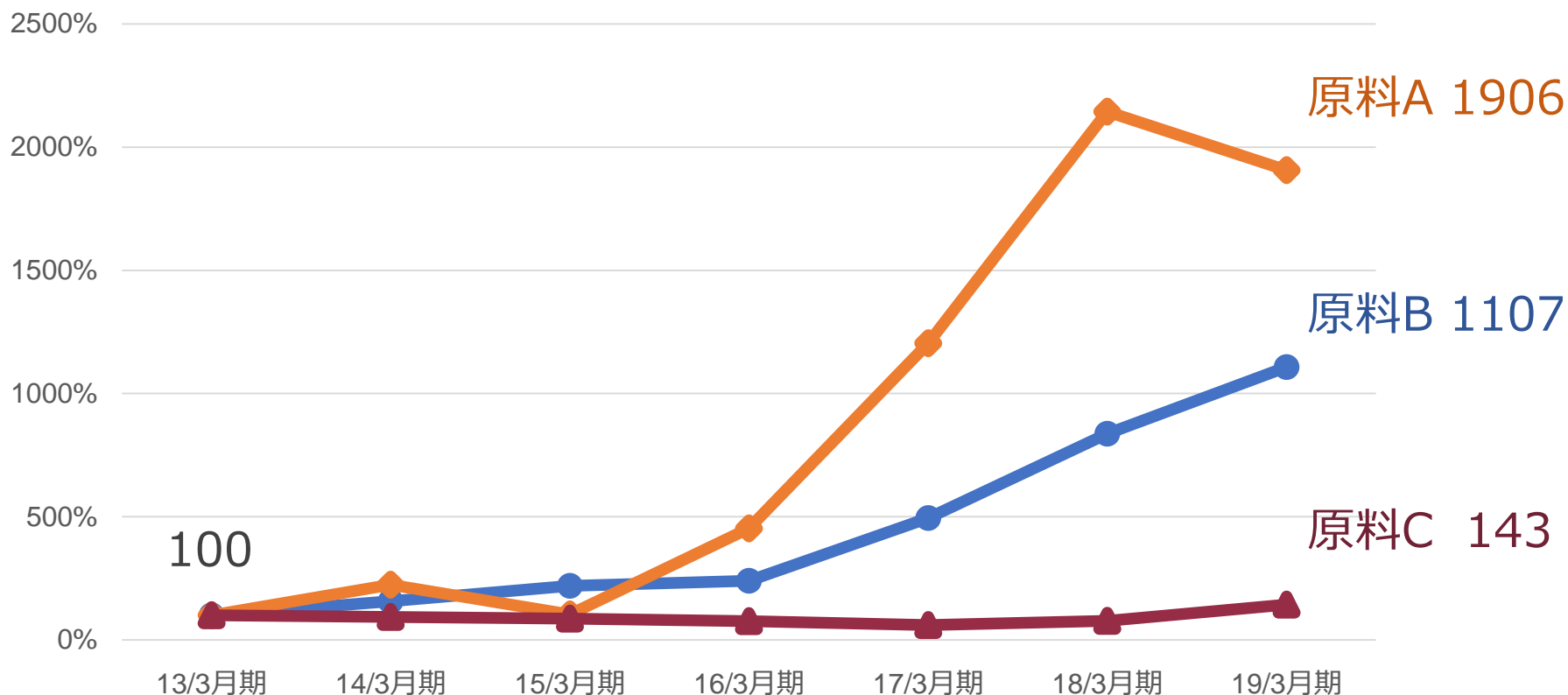


原料価格高騰の現状分析と対応策

原料価格高騰の現状

- ・ 13/3月期を100としたときの購買価格の推移と仕入への影響

主要原料の値上がり比率



原料価格高騰の背景

要因が複合的に絡むことで問題が複雑化

供給面



- サプライヤー複数社での火災事故
- 環境規制の強化
- 生産量減少
- 自然災害、気候変動

需要面



- 人口増加
- 経済成長、新興国における中間層拡大
- ナチュラル嗜好の高まり

取組みの状況

短期的な対応を進めつつ、長期的対応にも取り組む

調達分野

- 既存サプライヤーとの関係強化
- 新規サプライヤーの開拓
- 購買手法の進化
 - 長期契約
 - スケールメリット
 - 複数購買
- 他産地・新規原料の開拓

製造分野

- 製造方法の改良
- 原料の見直し

販売分野

- コストベースの価格設定

その他

- ロジスティックス効率化

本日は、ありがとうございました。



※注意事項

本資料は、2019年5月23日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先：IR/広報室

TEL: 03-5744-0523 FAX:03-5744-0512

<http://www.takasago.com>

E-mail: ir@takasago.com

